

リサイクル計画書（積算段階）

1 設 計 概 要

施 淨 修 8・9 第 1 号

作成出来ない理由	①緊急工事等 ②3,000千円以下の仮配管工事 ③その他(下記)
----------	----------------------------------

事 務 所 名	施設整備センター	工 事 名	成田給水場1号配水池内面補修工事
工 事 場 所	成田市吾妻1-22-4 成田給水場内	工 期 (予 定)	令 和 8 年 10 月 ～ 令 和 9 年 6 月
工 事 概 要 等	(1)劣化部除去工 3,755m ² (2)コンクリート面補修工 一式 (3)防食工 3,755m ² 他		

2 建 設 資 材 利 用 計 画

建 設 資 材	① 利 用 量	② 現 場 内 利 用 量	③ 再 生 材 利 用 量	④ 新 材 利 用 量	⑤ 再生資源利用率 (②+③)/①×100	備 考
土 砂	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
砕 石	トン	トン	トン	トン	%	
アスファルト混合物	トン	トン	トン	トン	%	
	トン	トン	トン	トン	%	

※ 最下段には、その他の再生資材を使用する場合に記入する。

3 建 設 副 産 物 搬 出 計 画

指定建設副産物の種類		⑥ 発 生 量	⑦ 現場内利用量 (減量化量)	⑧ 他工事への 搬出量	⑨ 再資源化施設 への搬出量	⑩ スtockヤード への搬出量	⑪ 現場内利用率 (⑦/⑥) × 100	⑫ 有 効 利 用 率 (⑦+⑧+⑨+⑩)/⑥×100	備 考
建設発生土	第1種建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	%	砕石
	第2種建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	%	
	第3種建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	%	土砂
	第4種建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	%	埋立処分
	泥土（浚渫土）	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	%	
	合 計	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	%	
コンクリート塊		4.0 トン	トン	トン	4.0 トン	—	0 %	100 %	CO
アスファルト・コンクリート塊		トン	トン	トン	トン	—	%	%	
建設発生木材		トン	トン	トン	トン	— トン	%	%	
建設汚泥		トン	トン	トン	トン	— トン	%	%	
建設混合廃棄物		トン	トン	トン	トン	— トン	%	%	
汚泥と廃アルカリの混合物		19 m ³	m ³	m ³	19 m ³	m ³	0 %	100 %	劣化部除去工

※ 建設発生土の区分（既存資料から判断するものとする。）

①第1種建設発生土…砂、礫及びこれらに準ずるもの。

②第2種建設発生土…砂質土、礫質土及びこれらに準ずるもの。

③第3種建設発生土…通常の施工性が確保される粘性土及びこれらに準ずるもの。

④第4種建設発生土…粘性土及びこれらに準ずるもの。（第3種建設発生土を除く。）

⑤第5種建設発生土…浚渫土のうち概ねコーン指数値が2以下のもの。

※「⑩ストックヤードへの搬出量」には、他工事に再利用されることが予定される場合のみ記入する。

※「他工事」には、他機関の公共工事や民間工事も含む。

※建設発生木材の中には、伐採除根材及び剪定材を含む。

※建設汚泥、建設発生木材の「⑦現場内利用」の欄には、上段に現場内利用、下段に現場内での減量化量を記入する。